



寺の休憩室に亡き夫の絵

西蒲区
池田恵美子さん(74歳)

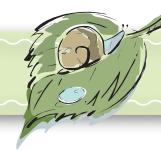
妙光寺の玄関脇にある休憩室には、季節ごとの油絵が飾られている。描いたのは、令和5年に亡くなった檀徒で当時世話人の故池田勝吉さんだ。若い頃から独学で絵を学び、晩年は公民館の絵画教室に通い、生涯の趣味としていた。市の展覧会で毎年入選していることを聞いた院首から頼まれて、お寺の風景を描くために30号のキャンパスを購入した矢先、病に倒れた。

新作を見ることはかなわなかったが、せっかくだからこれまで描いてきた作品を皆さんにも見て頂きたいとお願いして、昨年から勝吉さんの絵を飾っている。「喜んでもらえるなら」と快く引き受けてくださったのは、勝吉さんの妻の恵美子さんだ。世話人の仕事も引継ぎ、任期を全うしてくださった。

(2ページに続く)

妙たえの光ひかり

復刊132号



行事案内



マドハット・カケイ絵画展

7月2日(水)～28日(月)

イラクで生まれたクルド人作家マドハット・カケイさんの作品展を、客殿大広間で開催します。詳細は別紙チラシをご覧ください。

お盆参り

『せがき施餓鬼法要』

8月1日(金)

11時半～12時10分

(墓経 6時～11時)

※法要前の午前6時～11時まで墓地にお上人さんが待機しています。墓前でのお経を希望される方はお声がけください。



『お盆市』

8月11日(月)・山の日/

午前9時～午後3時

(墓経 8時～12時)

院庭や参道に地域の方々の出店やキッチンカーが並びます。※午前8時～12時まで墓地にお上人さんが待機しています。墓前でのお経を希望される方はお声がけください。



新盆法要

8月11日(月)・祝

檀徒で今年新盆にあたる精霊のお位牌を安置し、ご供養します。

該当する方にはお知らせを同封しましたので、お申込みの上ご参列ください。

※檀徒以外でも新盆供養をご希望の方はお問合せ下さい。



墓地合同法要

8月13日(水)午後3時～4時(安穩廟あずま屋)

妙光寺墓地に眠るすべての精霊をご供養するお経をあげます。どなたでもご参列ください。

※手不足で個別の墓経はお受けできません。ご了承ください。

あ と が き



毎月の「お経と寺ランチの会」で、精進カレーを作るお手伝いをしています。印刷されたレシピを見ながら、生まれて初めて作るカレーです。「これでいいのかな?」手探りで作る感じも楽しいです。境内には御前さまを先頭に「歩く瞑想」をする参加者の皆さんの姿もあります。季節もよくなりました。是非一度お出かけください。(新倉理恵子)

お盆棚経

8月2日(土)～12日(火)

ご自宅へのお仏壇参りです。例年通り日時お知らせのうえ伺います。



岩屋七面様祭礼

8月19日(火)

午前10時、本堂にて法要とお加持。岩屋に移動して法要。

お昼にお赤飯のご供養があります。ご自由にお参りください。



万灯のあかり—妙光寺の送り盆

8月30日(土)

ご先祖さまを霊山へとお送りする灯籠供養です。詳細は別紙ご案内をご覧ください。

【献灯のご案内】

1基2千円 メッセージを添えてお申し込みください。



秋季彼岸会法要

9月23日(火)・祝

午前10時30分 安穩廟法要
11時 本堂にて彼岸会中日法要
12時 おとき
午後 1時 住職法話
予約不要です。どなたでもお参り下さい。



ボランティア

7月30日(水)、8月8日(金)、9月15日(月)

午前9時～12時 午後1時～3時

毎月15日ですが、7月、8月は日にちが変わります。7、8月はお盆の準備、9月は清掃作業等です。たくさんの皆様のご協力をお願い致します。

月例信行会 = お経と寺ランチの会

毎月第 1水曜日 午前9時～11時

●7月2日(水) ●9月3日(木) ●10月1日(水) ※8月はお休みです。

お参り、瞑想、作務、精進カレーのランチタイムがあり、交流の輪も広がります。

■参加費 お志を各自賽銭箱にお願いします。■予約申込み不用。当日直接お寺へお越し下さい。





西蒲区 池田恵美子さん

共働きで3人の子育て

恵美子さんは新潟市中央区白山浦の生まれ。高校を出てからタイピストの専門学校に通い、卒業後は新潟大学に就職した。ワープロやパソコンの普及でタイピストとしての仕事は少なくなり、事務の仕事が多くなっていた。その仕事の中で出会ったのが、勝吉さんだ。共通の趣味がスキーだった縁で親しくなり、結婚。嫁いでも仕事は続け、当時は珍しい共働きだった。働きながら3人の子どもを育てたが、大変だった記憶はない。「義母が畑仕事をしながら、孫の面倒を見てくれたので助



市展会場での勝吉さん

かったわ。とても良い人だった」と朗らかに語る。義父は同じ大学の施設部で大工をしていた。昔気質の人で、獲ってきた雀を、囲炉裏で焼いて食べるのを見た時は仰天したそう。仕事は61歳まで続けた。昼休みには、お茶を習いにいくなど趣味も楽しんだ。

定年後は家族での旅行が楽しかった。特に家族みんなスキーが好きで、孫も連れて何度も雪山へ行った。娘の結婚相手はアルバイト先で出会ったが、新潟大学の学生だったことが後から分かり、しかも勝吉さんや恵美子さんが働いていた理学部卒だったので、ご縁があると皆で笑っ

た。新潟にいた間にすっかりスキーにはまってしまったそうだ。

長男、そして夫との別れ

充実した日々を送っていた恵美子さん一家だが、後に長男の癌が発覚する。本人が手術はしないと決め、自宅で見守った。満45歳だった。一周忌を終えた直後に、今度は勝吉さんが体調を崩した。訪問看護を頼みながら、同じく自宅で療養をすることにした。息を引き取る前夜2時ごろ、「身体を起こしてくれ」と頼まれて次男と一緒に支えてあげた。夫は周りを見回したりしていた。そのまま自分たちもやすみ、朝になって様子を見ると夫も横になっていた。手を触っても暖かかった。眠れたのだと安心したが、その時にはもう亡くなっていたことが後で分かった。強い痛みがほとんど出なかったことは良かったと振り返りつつ、薬の飲み合わせなども上手にやってあげられることがあったのではないかと今も考えている。療養中、食べたいものを聞いた時に、ほとんど食べられない中で「茶碗蒸

し」と言ってもらえたことがすごく嬉しかったと語る。もっと頼みを聞いてあげたかった。

平均寿命までは元気

今は次男と2人で静かな生活を送っている。義母の残した畑も放置出来ないで、慣れない農作業を調べたりしながら取り組んでいる。晴れると毎日草むしりで、取っても取ってもすぐ生えてくるから大変だ。けれど先日、キュウリの初物が採れたので漬け物にしたり、味噌をつけて食べたりした。美味しかった。「本当は畑仕事よりも、裁縫が好きなんだけど」と笑う。孫には作業衣や浴衣を手作りしたそうだ。

勝吉さんの三回忌も終わり、これからは自分の健康維持を頑張っていくことが目標だ。8年前に自転車で転び、大腿骨骨折してから足の調子が悪くて大変だが、いつでも自分の足で歩いていた。女性の平均寿命が86歳なので、そこまでは元気でいたいと語る恵美子さんである。

(住職記)

安 穩

小川良恵

一粒の米



ラス飯は祖母の…

皆さんは「最後の晩餐」に食べたいものは何でしょうか。「最後の晩餐」という言い方はキリスト教的なので、寺報『妙の光』の記事としては「ラス飯」と言っておきましょうか。「人生ラストの飯」を略した言葉で、世間ではお寿司や焼き肉が1、2を争う人気だそうです。

私はもう決まっています。祖母の筋子のお握りです。亡くなった母も、「お握りだけはいつまでも婆ちゃんに敵わない」と言っていました。ふわっと握ったお米と、しよっぱめの筋子、水分を吸った海苔の味わいが絶妙です。コンビニのお握りはパリパリの海苔が大事だとよく言われますが、手作りのお握りはお米に張り付くくらいがちょうどいいと思います。惜しむらくは、どう頑張ってもらっても、祖母より私の方が先という可能性は限りなく低いことでしょうか。筋子のお握りを30年程美味しく冷凍出来る技術が開発されることを願います。

修行中に出会う食事

実は去年から続く米不足のニュースを見ていて、日本人にとつていかにお米が特別かを実感しながら、修行中に出会ったある人を思い出していました。彼女曰く、「食事は楽しくない。食べないと死んでしまうから、仕方なく食べている」というのです。衝撃的でした。お恥ずかしい話ですが、私は修行中、三度の食事を楽し

功德と辛苦によらざることなし

お坊さんなのに食べ物の話ばかりで恐縮ですが、実際のところ、良いお坊さんの条件のひとつに何でも美味しく食べられることがあると思います。好き嫌いが無いことはもちろんですが、何よりも人に作ってもらったもの、出された食事を喜んでいただくことが重要です。

大切なことは、食事が楽しみであれ、修行であれ、生きるためには必要なことであり、今日も食べられることはありがたいことだと自覚することです。日蓮宗には、食法といって、食事の前に『天の三光に身を温め、地の五穀に精神を養う。皆これ本仏の慈悲なり。たとえ一滴の水、一粒の米も功德と辛苦によらざるることなし我等これによつて心身の健康をまっとうし、仏祖の教えを守つて四恩に報謝し、奉仕の浄行を達せしめたまえ。』とお唱えします。一粒の米に込められた功德と辛苦を思い、農家さんにとつても私たちにとつても美味しくご飯が頂ける日が戻ることを祈ります。

◆第15回浄土講座◆ 4月12日

日本総合研究所の沢村香苗さんによる、「個・孤の時代の高齢期～誰もおひとり様になる時代」と題した講演。40名余りの参加者による熱心な質疑でが交わされました。



◆春のお彼岸法要と映画上映◆ 3月20日

お彼岸法要の後、映画『田吾作どんのいる村』を勧賞しました。安穩檀徒の猪浦さんが制作監督され、第18回長岡インディーズムービーコンペディション撮影賞受賞作品です。大型機材の借用で大画面の迫力、ほのぼのとしたストーリー。上映後の猪浦さんによる制作エピソードも楽しい語らいでした。



◆苔の移植作業◆

本堂脇の杉林にボランティアのご協力で苔を移植しました。境内裏手の苔を剥ぎ取り水洗い、乾燥後に胞子を撒いて半年ほどで出来ませんが、事前の整地作業が大変です。3年目ですが、やがて全面が覆われることを想定しています。



◆事前準備が念入りでした◆



当番地区の事前打ち合わせ会議



都合3回やった出座お上人の稽古



雨予報で急遽お上の方の応援で院庭のテント張り



地元角田浜檀徒によるのぼり立て

ポリバケツ太鼓を叩いて駆け回る子どもたちのワークショップ



素敵な衣裳にお稚児さんも笑顔がこぼれます

寺のうごき



開山会

◆『5月31日当日◆

江戸時代から300年は続くと言われる伝統行事を、一昨年から改変した開山会。700年前の開山当時を思い、これまでご縁の全ての精霊供養と、安穩な世界を共に祈ります。終日雨天予報でしたが幸いの曇り空で、全ての日程終了後に雨が降り出しました。皆様からの浄土基金を原資に50年ぶりに新調した稚児衣裳は華やか、元ブルーハーツのドラマー梶原さんとの太鼓コラボは圧巻でした。



山門から、お稚児さんを先頭に本堂へ



17名のお稚児さんが並び前での大法要



境内の題目堂から本堂に向かうお練りの行列



式衆のお上人もいつも以上に緊張気味



梶原さんの巧みなリードで皆さんも笑顔に



出店もあって賑わう境内



恒例のお茶席



こどもたちも参加した音楽法要

三間泚宇上人と彩菜さんに聞く

音楽を通じて心を伝える

5月31日「開山会」では、ブルーハーツのドラマーとして活躍した

梶原徹也さんとの音楽法要が行われました。

梶原さんは、良恵住職をはじめとした9人の僧侶や越王太鼓のメンバーと共演し、

客席の人達も共に団扇太鼓や手製のバケツ太鼓を叩きました。

実は僧侶の1人は、ジャズミュージシャンの顔も持つ三間上人です。

妻の彩菜さんもキーボードで参加しました。

読経と太鼓が混然一体となった音楽法を支えた夫妻に、演奏直後にお話を聞きました。



三間泚宇上人

35歳。新潟市中央区妙延寺副住職。音大を中退し立正大学に編入学した異色の経歴の持ち主。彩菜さんとの間に3歳の娘さんがいる。

三間彩菜さん

35歳。北海道帯広市出身。大学時代音楽サークルの活動で三間上人と出会い、8年前に新潟へ。社会福祉士でもある。

Q 三間上人は音楽大学で学ばれたそうですね？

泚宇 大学のジャズ科に入学した時は、音楽を仕事にしたいと思っていました。私はお寺の一人息子なので、周りからお寺を継ぐと期待されて育てられました。でもレールの上を歩くのが嫌で、中学でギターに出会って少し別の道に進みたいなと思ったんですね。親にはちゃんと受験して音大に入れるなら行ってもいいと言われて、音楽大学に進みました

Q それがお坊さんになったのはどうしてですか？

泚宇 サークルで出会った妻と付き合い

Q 音楽という夢を諦めたわけですね？

泚宇 初めは「夢が終わってしまった」という気持ちを強く持っていました。でも尊敬している先生から「住職は「十職」でもある。十くらい自分の得意な分野を持

始めて、結婚を意識するようになったからです。ミュージシャンで生きていくよりも、寺を継いで、妻と一緒に音楽ができた方がいいなと思うようになったんです。親からも「早くお坊さんの学校に行ってくれ」とか言われていましたし。それで音大は中退して立正大学に編入して僧侶資格を取りました。

Q 彩菜さんはそれに巻き込まれていったわけですね。

彩菜 私の家は祖父母がお寺に熱心で、毎月お寺様が読経しに来ていました。でもそれは祖父母のことと思っていたのでやはり不安でした。それにやっと寒い北海道を

つ仕事だ」と言われて、音楽活動も一生懸命やっていこうと思うようになりました。妻と一緒に、ムッシュ・セボン」というジャズバンドに参加しています。音楽でもご縁が広がって、こうして梶原さんと一緒に一緒に機会も持てました。今は本当に気持ちよく僧侶と音楽を両立しています。

Q それで今日の演奏は、いかがでしたか？

泚宇 練習やリハーサルとは全然違う梶原さんの熱を感じましたね。音量も大きかったし手数も多かったですし、それにつられて僕の気持ちも上がってしまっ「酸欠で倒れる倒れる。どうしよう」って思いながら「南無妙法蓮華経、南無妙法蓮華経」と唱えていました。

彩菜 ちらっと横から見たら、顔がどんな赤くなって大丈夫かなって思いました。

練習の時はあそこまでの大音声は出していなかったのだ。

泚宇 僧侶の人数も多いし、越王太鼓の方々も参加していたし、客席の方々の参加もあって、それをリードする梶原さんのパワーがすごかったの、もう半分トランス状態でした。本当に一瞬のことだったような気がします

Q 練習はどのくらいしたんですか？

泚宇 梶原さんが来てくださって、4月の終わりから4回行いました。

彩菜 私もキーボードの音色を梶原さんに何度も確認していただいて、弾き方もいろいろとかがあって、なるほどこうなるのかと思いつながりがありました。パイプオルガンのような広がりのある音にしたいとおっしゃったので、できる限り梶原さんのイメージに近づけようと努力しました。

泚宇 僕は梶原さんの音楽的な要求を、お坊さんたちに伝える役割でした。「南無妙法蓮華経」と唱える音程も、梶原さんからの指定がありました。他のお坊さんはそんなことを考えて読経することはありませんから、大変だったと思います。リズムの指定もあるし、かみくだいて伝えるのは僕もかなり大変でしたが、みなさん頑張って声を出して下さいました。

音楽活動を続けている

Q お坊さんとして、音楽と仏教の関係はどう考えますか？

Q これからどんなことをやっていきたいですか？

泚宇 自分が音楽を通じて寺の外に出ることによって出会った方との縁を大事にしつつ、お寺を盛り上げていきたいと思っています。そして優しいお坊さんになれるといいなあと思っています。

彩菜 私は大学で福祉を学んで、社会福祉士資格を持っているんです。福祉関係の仕事もしていました。相談を受ける仕事も経験しているので生かせるといいですね。

泚宇 そういえば資格持ってたよね。すっかり忘れてた。きつとお寺のみなさんの役にも立てるね。

これからも2人で仲良く頑張ってください。(聴いた人・編集部 新倉理恵子)



Q 妙光寺では、どんな人たちが働いているのですか？



妙光寺は、「宗教法人妙光寺」として法人格を得ています。そのため、職員は一般企業と同じように月給制で、社会保険や雇用保険にも加入しています。住職と院首、そして3名の寺務員が、いわゆる正社員という扱いで勤務しています。その他に早朝の開門をお願いしているパートさん、庭仕事を嘱託している庭師さんがおります。また、行事やお盆の棚経など繁忙期には、他のお寺のお上人さんにお手伝いをお願いすることもあります。お給料が発生しているという意味での「働いている人」は基本的にはこのメンバーです。

しかしお寺というのは特殊な場所で、実際はもっと多くの皆さんに支えられています。お寺の経理や運営について相談する役員さん、地元の

檀徒をまとめる世話人さん、大きな行事でお斎作りをしてくださるお勝手当番さん、年番さん、行事の企画運営に携わる会議の皆さん、サポーターズクラブの皆さん、お茶クラブの皆さん、月に一度お掃除などを手伝ってくださるボランティアさん……他にも多くの皆さんが、お寺のため、ひいてはお参りの方々のために、自分の大切な時間を使ってくださっています。大変ありがたいことです。

「働く」の語源は、「傍楽」（はたらく）、傍を楽にする、つまり周りの人を楽にするであるという説があるそうです。仏様の教えにも、「身施」といって、身体を動かして人の為に施すという修行があります。皆さんのこうした修行の実践のおかげで、お寺は成り立っているのです。



誌上法話 小川良恵

「自行」の喜び 『普賢菩薩勸発品第二十八』



法華経の最終章です。普賢菩薩は文殊菩薩と並んで釈迦如来の脇侍として有名です。名前を聞いたことがある方も多いでしょう。そして文殊菩薩が「智」を象徴するのに対し、普賢菩薩は「行」を象徴するとも言われます。勸発は「人に勧めて仏道を信奉する心を起こさせること」を意味します。この章では、普賢菩薩が私たちの住む娑婆世界の遙か東方から、数え切れない菩薩の大集団を引き連れて、やって来るお姿が描かれています。

仏滅後の世界で 法華経を得るために

普賢菩薩は釈迦如来の前で「我々にも法華経をお説きになってください」と懇願し、さらには「如来様が涅槃に入った後はどうすれば皆が法華経を得られるでしょうか」と問いかけます。

釈迦如来は、「信仰あるものが四法を成就するならば、たとえ末法の世でも人々が教えを得られるだろう」とお答えになります。四法とは諸仏護念（諸仏の守護を信じる）・植諸徳本（善根を積む）・入正定聚（必ず悟りへ至る道へ進む）・発救一切衆生之心（一切衆生を救うと決意する）のことで、法華経の精神を世に弘めるための心得です。

普賢菩薩の誓い

普賢菩薩はこの答えを聞き、末法の悪世において修行者を守護し、悩みや苦しみがあれば取り除き、心安らかに過ごせるよう務めると誓います。また、その人が経文の一部を忘れてしまうことがあれば、彼の前に姿を現し、一緒に学びなおすことを約束しました。さらには、陀羅尼という一種の呪文を説き、悪鬼などの魔なるものから身を守る術を明かされました。

釈迦牟尼仏は普賢菩薩の誓願を讃え、法華経を受持する者の功德を説かれました。釈迦如来が法華経を解き終わった後、集まった諸々の菩薩や神々、声聞、人間や人間以外の全ての衆生は歓喜し、仏の教えを受持すること

を誓い、霊鷲山を去ります。

仏法を後世に伝えた人々への感謝を胸に

この章で説かれているのは、「自行」です。すなわち自分自身が修行をして、普賢菩薩に護られ、自らも法華経を弘める一翼を担う喜びが説かれています。

現在を生きる私たちが、法華経に出会い、仏様の教えに触れることが出来るのは、長い歴史の中で、仏法を学び後世に伝えてきた人々がいたおかげです。私たちもまた、この大きな仏様の慈悲のなかで、同じ時代を生きる者のため、また後の世の人々のために仏道を実践していくことが大切なのだと考えさせられます。

ど ちょう 度牒交付式を経て「沙弥」になりました

しや み 寺務職員 菊池崇子

今年3月、寺務職員である菊池崇子さんが千葉県清澄寺で僧侶見習いの資格を得ました。
お寺の世界で新しい一歩を踏み出した心境を、記しました。

ど ちょう 度牒と大本山清澄寺

度牒は、日蓮宗の僧侶見習いである「沙弥」となった証であり、その証明書をいただくのが度牒交付式です。この式を経て、「沙弥」として正式にお寺での勤行（お勤め）ができるようになりました。

度牒交付式は、千葉県鴨川市にある「大本山清澄寺」で行われます。清澄寺は、日蓮聖人が出家得度をされたお寺です。その後十有余年の遊学の果てに法華經に辿り着き、清澄寺に戻り清澄山の旭が森で朝日に向い、お題目を唱えて立教開宗（日蓮宗を開く）の宣言をされた場所でもあります。日蓮聖人が僧侶として、また宗祖としての第一歩を踏み出した場所で、私も僧侶見習いとしての第一歩を踏み出しました。

度牒交付式って何をするの？

僧侶としてのスタートラインである度牒交付式。今回は、全国から下は9歳、上は82歳の計57人の僧侶見習いが集まりました。1泊2日の日程で執り行われますが、2日間みっちりというわけではありません。日蓮聖人も行われた旭が森での旭日遥拝を行うため、1日目の午後3時に集合し、2日目の朝8時ころ解散という流れになっています。その間、度牒交付式の練習や読経試験（全員で声を合わ



全山雨にけむる大本山清澄寺

菊池さんと良恵住職



せて読む）、仏前作法指導などがあります。就寝の時や休憩などは、それぞれ5～7人ずつの部屋に分かれて過ごします。

今回は残念ながら1日目の夜半から雨が降り出し、早朝は霧がかかってお山一面真っ白になってし

まったため、朝日を拝むことはできませんでした。式典では日蓮宗宗務総長より一人ひとりに度牒が手渡され、白い「沙弥」としての袈裟を身に着けました。

度牒交付式を経て

妙光寺の僧侶の体制が変わる中で、私も寺務以外でも皆さまのお役に立てればと思い、「沙弥」として度牒を受けさせていただきました。正直、これも仕事におけるスキルの一つと軽く考えていたところがありました。

しかし、度牒交付式に参加して僧侶としての資格を持つということは、単なる仕事上の資格とは異なり、皆さまに信頼していただける人間性も鍛えていかなければいけ

ないかと改めて感じました。年齢を重ねると、人間性を鍛える機会をいただけることは中々ないと思います。せっかくいただいたこの機会を大事にして、皆さまがこれからも安心して妙光寺と関わっていただけるよう、力を尽くしていければと思います。今後とも、何卒よろしく願いいたします。

『菩薩の森』事業進行中です

『菩薩の森』事業がお陰様で順調に推移しています。詳細を同封別紙にて、『菩薩の森』進行状況としてお知らせしました。お目通しください。

お盆行事が続きます

妙光寺のお盆行事は8月1日から始まります。各お宅ご先祖様のお盆の施餓鬼供養、個別に墓前で読経する墓経、この1年以内に亡くなられた故人様の新盆法要、墓地のお盆合同供養、そしてお盆最後には精霊への妙光寺の送り盆と続きます。以上は全て妙光寺が会場ですが、この間お上人が各お宅に直接伺ってお仏壇または精霊棚に読経する棚経があります。それぞれの詳細は、別紙ご案内を同封します。また各お宅への棚経の日時は、個別にお知らせしています。ご不明の点はご遠慮なくお問い合わせください。

客殿に冷房設備が完備

近年夏の猛暑が続く参拝者の熱中症対策が急務でした。法事等は冷房完備の京住院を使用していたのですが、人数が多い場合はこれも無理です。この度の『菩薩の森』事業の一環で本堂と客殿の冷房設備を検討し、客殿に設置しました。本堂については、資金上両方は難しく、使用時間が限られ扉を全て開放して扇風機で対応すればなんとかしのいでいただけると判断いたしました。皆様のご協力の賜と感謝申し上げます。

安穩廟植栽整備と残余区画数

安穩廟の墓碑の大部分にサツキを植えています。近年夏の猛暑続きによる枯れが目立っています。秋に新たな苗木の植栽を予定しています。夏期の給水が困難なため、水不足に耐えるよう新たな土に保水材料を加えて施行する計画です。

尚、昨年増設した『池の上―杜の安穩』の残余は46区画です。

役員総会開催

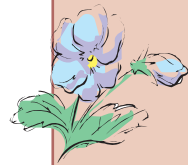
宗教法人妙光寺には住職の他に総代3名、世話人と呼ばれる役員が20名おられます。通常は総代と補佐する5名の役員計8人が年に数回集まり、行事や事業の計画進行等を協議しています。6月に全役員による役員総会で、年間を通した事業計画と全ての経理について審議していただいています。今年度は6月29日(日)に予定しています。

「任意後見」「葬儀の事前契約」

高齢になって頼る親族のいない世帯が増えていきます。国の進める「任意後見制度」が有効ですが、内容が難し

「年会費」据え置きます

今年も「年会費」と「浄土基金」のご協力をお願いします。ご承知のように郵便料金が大幅に値上がりしましたが、「年会費」は据え置きます。妙光寺では安穩廟の収入から経費を差し引いた全額を基金として、主に外国債券で運用しています。それが昨年は円安で郵便料金値上がり分を上回る運用益の増収となりました。国際情勢に大きく影響されますが、今後



角田山妙光寺インフォメーション



秋に苗木の植栽を予定の安穩廟の墓碑の大部分

